



日本聖書神学校 学 報

Japan Biblical Theological Seminary

〒161-0033 東京都新宿区下落合 3-14-16・☎03-3951-1101 ~ 2・Email: jbts@jbts.ac.jp

2025 年 4 月 10 日

第 178 号

発行人 神 保 望

【後援会献金口座】

郵便振替:

00110-3-6435

加入者名:

学校法人聖経学園

日本聖書神学校



【巻頭言】

「気弱な」預言者の「言葉への責任」

教 授 小林祥人

今号の内容

巻頭言	1
第 77 回卒業生	2
2025 年度新入生	2
動かされることなく、主の業に励む	3
基礎科開設と入試三回制導入	3
学事報告・個人消息	4

預言者エレミヤがどことなく気弱に見えるのは、バビロニアへの降伏を奨めるなど、毅然とした態度とはいえないようなところが問題でしょうか。あるいは「自分は若輩者なので」と神からの召命を断ろうとするからかもしれません。しかし、エレミヤ書を読むと、最初はどうかあれ神に導かれた人間の成長や、どうしようもない状況の中で自分の限界と闘いながら神の御旨を成し遂げようとする人物が描かれているように思われます。預言者のいわゆる個人情報について旧約聖書はほとんど何も語りません。「神の言葉」さえ伝えてくれればそれでよいとも言えますが、「どんな人が預言者になったのだろう」という好奇心もわいてきます。私たちは先人の苦労や努力に励まされることが多いものですが、預言者個人を描く箇所が多いエレミヤ書のもまた伝道所として歩む私たちに多くの励ましと示唆を与えています。

そのエレミヤ書にこのような記述があります。「彼らはわが民を手軽に治療して、平和がないのに『平和、平和』と言う」（エレ6章14節）と。「彼ら」というのは前節に見られる祭司や預言者、つまり宗教に携わる人たちです。ここにはエレミヤの「神学」というか、むしろもっとシンプルなこの人物の「性格」のようなものが表れているように見えます。

「何とかする」「何とかなる」— それらは時に大切な言葉で、もちろん私たちも折に触れ使います。ですが、無責任にそれが使われることを、エレミヤはひどく嫌っていたふしがあります。有名な「ハナンヤとの論争」の場面もそうです。バビロン捕囚はそうあっさりとは終わらないというエレミヤ言葉をまともに受け止めようとする人は、そうはいませんでした。

エレミヤは簡単に、またすぐに物事が変わるとは思っていないませんでした。それがこの預言者の少し煮え切らない態度に見えるところなのでしょう。ある意味で「勢いのない」預言者と人々には映ったかもしれません。自分の罪を認めることなしに「何とかなる」は、エレミ

ヤにとって考えられないことだったでしょう。

「平和、平和」と、その言葉はいうまでもなく大切ですが、その言葉の中に血を通わせることなくして、ただ、「平和、平和」と言うことの軽さと、虚しさと、そして危うさというものを、エレミヤは問題とします。それは「主よ、主よ」と言ってはならないと諷めたイエス様の言葉にも通じるでしょう。それはまた十戒にもある「私の名をみだりに唱えてはならない」という戒めをも反映しています。私たちにとって、それが心地の良い言葉、値高い言葉であるだけに、かえって空疎なスローガンに堕してしまいかねないということでしょう。エレミヤ書のこの箇所はエルサレムが自らの罪によって攻撃を受けるという文脈で語られるのですが、よりもよって、そのことを真摯に受け止め、また人々に誠実に伝えることが職務だったはずの宗教者（「預言者と祭司」とい言い方をしています）がその場限りの付け焼刃的「神の言葉」で対処しようとしていたことに神からの痛烈な批判が加えられているといつてよいでしょう。

ここに、預言者エレミヤが「神の言葉」を引き取って人々に伝える者としての、言葉に対する責任のようなものを感じます。エレミヤはかなり世俗的、場合によれば下品とさえ見える言葉をも多用しました。しかしそれは計算されたものであって、大衆受けを狙ったのでもなければ、乱雑に饒舌を弄したのではありません。何より決して「お手軽に」人々を満足させようとはしませんでした。そのことのゆえに随分悩みもあったようです。しかしそのことは、現代を生きる私たちにさえ、宣教の現場にあって実に基本的でありまた最も重要なこととして響いています。懐疑的で真剣で「本当の平和」を望み続けたエレミヤだからこそ出た言葉は、しかし周囲から理解を得るのは難しかったでしょう。だからこそ「あなたがののしられ、迫害を受けるとき、喜びなさい。預言者も同じだった」といった山上の垂訓の中にあるイエスの言葉は、まさにこの遠い時代の先輩と私たちをつなぐ言葉のように、わたしには響いてくるのです。

2024年度 第77回卒業生

①卒業論文 ②卒業時の所属教会 ③実習教会 ④赴任教会

2025年3月21日現在



大森意素 おおもり いさく

- ①「子どもの教会」－礼拝と課題－
問いへの応答として
- ②日本基督教団千代田教会
- ③日本基督教団千代田教会
- ④日本基督教団千代田教会 担任



久保彩奈 くぼ あやな

- ①日本基督教団口語式文成立までにみ
られるインカルチュレーション～葬
式式文、結婚式文をめぐって～
- ②日本基督教団早稲田教会
- ③日本基督教団早稲田教会
- ④日本基督教団早稲田教会 担任



花島 泉 はなしま いずみ

- ①歌い継がれる賛美の力
- ②日本基督教団東京シオン教会
- ③日本基督教団東京シオン教会
- ④日本基督教団東京シオン教会 主任



東出英幸 ひがしで ひでゆき

- ①戦時体制に対するキリスト教会の内
発的協力－日本基督教団を中心に
- ②日本基督教団池袋西教会
- ③日本基督教団池袋西教会
- ④日本基督教団小石川白山教会（予定）



堀尾 隆 ほりお たかし

- ①新約聖書における洗礼描写の一側面
～病床洗礼の再考に向けて
- ②日本基督教団小金井教会
- ③日本基督教団小金井教会
- ④日本基督教団巣鴨ときわ教会 担任



2025年度 新入生一覧

【正科生】

- | | |
|----------|-------------|
| 1. 今井由貴子 | 世田谷キリスト教会 |
| 2. 丸山 仁 | 日本基督教団武蔵野教会 |
| 3. 吉岡 恵 | 日本基督教団祖師谷教会 |

【聴講生】

- | | |
|-----------|-------------------|
| 1. 五十嵐直美 | 日本ホーリネス教団由木キリスト教会 |
| 2. 今井俊道 | 日本福音ルーテル教会三鷹教会 |
| 3. 鴨下顕彦 | 久留米キリスト教会 |
| 4. 喜田川ルツ子 | 日本ナザレン教団横浜教会 |
| 5. 齋藤健一郎 | 日本基督教団愛泉教会 |
| 6. 林 信一 | 日本基督教団横浜港南台教会 |
| 7. 原田裕子 | 日本基督教団信濃町教会 |
| 8. 松脇達朗 | 日本キリスト教会蒲田御園教会 |
| 9. 目黒昭彦 | 日本基督教団大泉教会 |

キリスト教研究所紀要『聖書と神学』投稿募集

『聖書と神学』第36号は、2025年10月末に発行予定です。今回「特集」は組みません。査読を経て掲載するa. 論文、b. 研究ノート、c. 書評、および、査読のない宣教報告・神学黙想の投稿をお待ちします。締切は5月20日。投稿要領を institute@jbts.ac.jp までご請求ください。

投稿資格を有するのは当研究所の所員・会員です。卒業生はどなたも会員となれます。卒業生でない方は会員2名の推薦を得て入会となります。神学校総務部にお申込みください。年会費1000円で、会員には紀要を1部お送りします。

(所長 水谷 勤)

動かされることなく、主の業に励む

校長 神保 望

「私の愛するきょうだいたち、こうい
うわけですから、しっかり立って、動
かされることなく、いつも主の業に励
みなさい。あなたがたは自分たちの労
苦が、主にあって無駄でないことを
知っているからです。」

(第一コリント書 15 章 58 節・聖書協会共同訳)

これは過去八年間、校長として常に
大切にした聖句です。ここには、幾つ
もの難局を乗り越え伝道者として用い
られたパウロの信仰に基づく使信が込
められています。この使信によって、
これまでに多くの人々が励まされたこ
とでしょう。パウロの手紙は回状(回
章)と呼ばれるものであり、複数の人々
が回覧することを前提としました。で
すから回覧する者の中にはパウロと面
識のない人々が大半だったでしょう
し、今日までコリントという宛先を遙
かに超えて多くの人々に回し読みされ

て来ました。パウロの手紙は、無名の
読者を前提とした手紙なのです。しか
し読者が無名であっても、「私の愛す
るきょうだいたち」とパウロは呼びか
けます。パウロ自身が、神から愛され
ていることを確信していたからです。
世の罪を負い十字架上で死を遂げられ
た主イエスは、陰府に降られましたが
三日目に復活されました。そこで主の
復活を信じたパウロは、「死は勝利に
呑み込まれた」と記しました。復活の
いのちに生きるなら、死の闇に支配さ
れ神による創世以前の混沌に戻るよう
なことは決してありません。御子が復
活されたことによって、私たちは永遠
のいのちに生きつつ終末時のキリスト
の再臨と御国の完成を救いの徴として
目撃するのです。弟子たちと最後に会
われた時、主イエスは「私は世の終わ
りまで、いつもあなたがたと共にいる」

と約束されました(マタイ 28 章 20
節)。パウロもまた復活の主と再会す
る希望を見据えながら生涯に亘って終
末信仰に生きました。

2024 年 11 月 25 日に開催されまし
た学校法人聖經学園理事会において、
日本聖書神学校校長三期目再任が承認
されました。これまでの校長としての
働きに通底するのは、伝道者養成校と
しての日本聖書神学校と諸教会、理事
会・評議員会、後援会、同窓会の皆様
を繋ぎ一つの信仰共同体とする要石で
あるお方が主イエス・キリスト唯一人
であると証言し続けたことです。

共におられる主を土台としてしっか
りと立ち、何ものにも動かされず主の
業に励んで参りますので、たとえ労苦
に直面したとしても主にあって無駄で
ないと信じています。ご加禱の程、宜
しくお願い致します。

基礎学習 1 年コース (基礎科) 開設と入試三回制導入

2026 年度より「基礎学習コース」(略
称「基礎科」)という新しいコースを
設けます。このコースの狙いについて、
簡単に説明させていただきます。本校を受
験するというのはかなりハードルの高
いことです。夜学での 4 年の学びに耐
えられるだろうか。授業のレベルにつ
いていくことができるだろうか。伝道
者への召命がまだ確かめきれていない
自分が出願してもよいのだろうか……。
そんな逡巡のゆえに正科受験には踏み
切れないものの、神学校への思いは消
えない。そういった方々に一年間の「試
してみる」機会を提供するのが、「基
礎科」です。

聴講生は希望する科目を受講しま
すが、基礎科生は正科 1 年生が学ぶ科目
を 1 年生と同様に受講します。聴講生
は何度も続けられますが、基礎科は 1
年 1 回限定です。聴講生と異なり、基

礎科生は学生寮に入寮することができ
ます。地方在住の方も住まいの心配な
く、勉学に打ち込むことができます。
入学試験は聴講生と同じで、面接試験
のみです。出願に求められるのは所属
教会牧師の推薦書となります。

1 年間学ぶ中で、正科生としての入
学の志が確かめられたなら、2 月入試
に出願し、一般の受験生と同じ条件で
試験を受け、合格すれば基礎科の 1 年
間で取得した単位を持って 2 年生から
正科を始めることができます。

基礎科で学びつつ神さまの導きを確
かめ、正科への進学を断念するという
ことも当然あるでしょう。しかしその
場合も、学びが無駄になるわけではあ
りません。修了者には「修了証」を授
与します。聴講生と同様、取得した単
位が無効になることはありません。た
とえ伝道者にはならなかったとして

も、ギリシア語、神学概論、旧約概論、
新約概論、旧約時代史、新約時代史、
キリスト教史 I といった基本科目の学
びは、信徒としての教会での働きに大
いに役立つものとなることは間違いあ
りません。広い意味で、神学校が諸教
会に仕える一つの道となると教授会で
は考えています。

もう一つ大事なお知らせがありま
す。2023 年度より春期入試の「二次
試験」を設けましたが、2026 年度より
名称を改め、「11 月試験」「2 月試験」
「3 月試験」という三回制に致します。
これは一人でも多くの人に受験して頂
きたいという願いからのものです。3
月試験の願書締め切りは 2 月末となる
ので、2 月中に決まった本人や家族の
仕事・学校のことを受けて受験に踏み
切るという人も起こされると期待して
います。(荒瀬牧彦教務部長代行)

Diary 学事報告
2024 年 9 月～2025 年 3 月

- ・9 月 6 日 教授会（第 6 回）
- ・9 月 6 日 後期始業礼拝、説教：神保望校長
- ・9 月 6 日 夏期伝道実習報告会
- ・9 月 9 日 後期授業開始
- ・9 月 10 日 学報（176 号）発行
- ・9 月 10 日 後援会通信（77 号）発行
- ・9 月 24 日 理事会（第 296 回）
- ・10 月 7 日 教授会（第 7 回）
- ・10 月 13 日 神学校日
- ・10 月 16 日 神学校を覚えて祈る集い
- ・10 月 21 日 後援会役員会
- ・10 月 21 日 ハラスメント防止講座、講師：渡邊さゆり氏（日本バプテスト同盟駒込平和教会牧師）、参加者 25 名
- ・10 月 25 日 教授会（第 7 回）
- ・10 月 25～26 日・全校修養会、テーマ「環境正義に向かう霊性—エコロジカルな視点で聖書を読む」、講師：藤原佐和子氏（日本キリスト教協議会（NCC）書記）、参加者 22 名
- ・10 月 28 日 図書館運用委員会
- ・11 月 6 日 理事会（第 297 回）
- ・11 月 8 日 秋期入学試験（合格者：正科生 1 名）

- ・11 月 8 日 教授会（第 8 回）
- ・11 月 11・18 日 ソーシャルワーク講座、講師：和田芳子氏（東海教会牧師・会友）、参加者 14 名
- ・11 月 11～15 日 授業体験週間、参加者 8 名
- ・11 月 25 日 評議員会（第 288 回）
- ・11 月 25 日 理事会（第 298・299 回）
- ・12 月 9 日 学生自治会ハラスメント学習会、アドバイザー：関伸子氏（カンバーランド東小金井教会牧師・64 期・ハラスメント相談窓口）、参加者 15 名
- ・12 月 13 日 教授会（第 9 回）
- ・12 月 13 日 クリスマス礼拝、説教：小林よう子氏（奥羽教区総会議長・八戸小中野教会牧師）、参加者 85 名
- ・12 月 15 日 学報（177 号）発行
- ・1 月 6 日 現場実習（総合演習Ⅱ）報告会、参加者 17 名
- ・1 月 14～16 日 後期補講日
- ・1 月 21～22 日 後期試験日
- ・1 月 22 日 教授会（第 10 回）
- ・1 月 24 日 卒業論文講評会
- ・1 月 24 日 臨時教授会（第 11 回）
- ・1 月 27 日 卒業論文発表会
- ・1 月 27 日 理事会（第 300 回）
- ・2 月 3 日 後援会役員会

- ・2 月 3 日 献身志願者の集い準備会
- ・2 月 3 日 図書館運用委員会
- ・2 月 4 日 4 年生と同窓会役員との懇談会
- ・2 月 13～14 日 春期入学試験（合格者：正科生 2 名、聴講生 9 名）
- ・2 月 14 日 教授会（第 13 回）
- ・2 月 14 日 2 年生と教授会との面談
- ・2 月 18 日 学生寮リトリート、ルーテル神学校訪問、参加者 7 名
- ・2 月 19 日 学生自治会学術講演会、講師：佐藤優氏
- ・2 月 21 日 理事会（第 301 回）
- ・2 月 28 日 学生自治会総会
- ・3 月 3 日 卒業礼拝、説教：徳田隆二氏（巨摩教会牧師・28 期）、卒業生 5 名、参加者 102 名
- ・3 月 3 日 教授会（第 14 回）
- ・3 月 10 日 チャリティコンサート（同窓会主催・後援会協力）、チェロ：井上とも子氏（40 期）、フルート：岡田恵美子氏（本所緑星教会牧師・60 期）、ピアノ：渡辺亜希氏、参加者約 120 名
- ・3 月 17 日 献身志願者の集い準備会
- ・3 月 17 日 新入生オリエンテーション
- ・3 月 24 日 理事会（第 302 回）
- ・3 月 24 日 評議員会（第 229 回）

個人消息**■ 神保望校長**

- ・9 月 8 日 六角橋教会担任教師就任式に出席（祝辞）
 - ・10 月 1 日 東京教区常置委員会に出席（年複数回）
 - ・10 月 13 日 茅ヶ崎教会特別伝道礼拝で説教
 - ・10 月 15 日 消防用設等定期点検に立会い
 - ・10 月 29 日～31 日 第 43 回日本基督教団総会に出席
 - ・10 月 3 日 大塚平安教会で説教（年複数回）
 - ・11 月 6 日 メーヤー宣教師墓前礼拝に出席
 - ・11 月 10 日 にじのいえ信愛荘礼拝で説教（年複数回）
 - ・11 月 18 日～19 日 同窓会関東支部会で講演
 - ・1 月 18 日～20 日 四国教区と日本聖書神学校との対話プログラムに出席
 - ・1 月 19 日 西条教会礼拝で説教
 - ・1 月 21 日 川島貞雄先生追悼記念会に出席（弔辞）
 - ・3 月 10 日 日本聖書神学校のためのチャリティコンサートに出席（挨拶）
 - ・3 月 18 日 NCC 教育部・エキュメニズム研修会に出席（実行委員）
 - ・3 月 30 日 カンバーランド長老キリスト教会按手礼に参加（祝辞）
 - ・校長として理事会、評議員会、教授会、校務会、人事委員会、図書館運用委員会、後援会役員会、献身志願者準備委員会に出席
 - ・その他適宜人事相談・学生面接を担当して教務執行
- 荒瀬牧彦教授／教務部長代行**
- ・9 月 7 日 日本賛美歌学会関東支部例会研究発表 於東中野教会

- ・9 月 10 日 東京教区東支区教師会講師
 - ・9 月 21 日 日本実践神学会司会
 - ・9 月 29 日 勿来教会教会研修会講師
 - ・10 月 20 日 鹿児島加治屋町教会修養会
 - ・11 月 4 日 横須賀上町教会・野比教会合同修養会
 - ・1 月 12,13 日 メノナイト教育研究センター特別講座 於札幌福祉センター
 - ・2 月 18 日 ルーテル神学校訪問交流
 - ・2 月 25,26 日 沖縄宣教研究所・富坂キリスト教センター共同研修 於宜野湾
 - ・3 月 1 日（福）ナオミの会評議員会
 - ・3 月 8 日 田園調布教会奏楽者研修
 - ・3 月 14 日 桜美林高校卒業祝福礼拝
 - ・3 月 16 日 東京教区西南支区音楽部研修会 於霊南坂教会
 - ・カンバーランド長老田園教会牧師、日本中会教職委員長・礼拝書委員・アジア宣教委員、JBTS 教務部長代行・理事・評議員・寮監、日本賛美歌学会運営委員、賛美歌工房代表の働き
 - ・執筆：『礼拝と音楽』204 号「読書案内」
- 小林祥人教授**
- ・11 月 30 日 関東教区按手式に出席
 - ・日本聖書神学校同窓会常任役員としての執務執行
 - ・取手伝道所・認定こども園取手幼稚園での執務
- 菅原裕治教授**
- ・11 月 30 日 東京教区山手グループ降臨節前夕光の礼拝説教担当
 - ・1 月 13 日 東京教区司祭按手式出席（推薦者）
 - ・1 月 21 日 川島貞雄先生記念式説教担当
 - ・日本聖書神学校図書館長、評議員としての執務執行
 - ・日本聖公会管区共通聖職試験委員会委員

- 長を継続（2024 年秋期試験、2025 年春期試験を監修）
 - ・日本聖公会東京教区聖職試験委員会委員長を継続（2024 年度執事試験、司祭試験を監修）
 - ・東京聖三一教会牧師としての執務執行
- 細井茂徳教授**
- ・11 月 19 日 上星川幼稚園収穫感謝礼拝説教
 - ・12 月 23 日 青山学院大学で礼拝説教（青山キャンパス）
 - ・2 月 25 日 上星川幼稚園卒園記念礼拝で説教
 - ・3 月 18 日 上星川幼稚園卒園式に出席、祝辞
 - ・上星川教会牧師としての執務執行
 - ・全国教師会理事としての執務執行
 - ・青山学院大学非常勤講師「キリスト教概論Ⅰ」を継続
- 水谷勤教授**
- ・9 月 15 日、10 月 20 日、11 月 14 日、12 月 15 日、2 月 16 日、3 月 16 日 四街道教会にて礼拝説教
 - ・10 月 13 日、3 月 9 日 取手伝道所にて礼拝説教
 - ・11 月 4 日 同窓会九州支部会オンライン集会講師
 - ・1 月 26 日、3 月 30 日 甲和北伝道所にて礼拝説教
 - ・2 月 23 日 池袋西教会にて礼拝説教
 - ・2 月 25 日 同窓会東北支部会講師
- 柳下明子教授**
- ・「教会婦人」3 月号巻頭言執筆
 - ・3 月 16 日 埼玉新生教会創立 79 周年記念礼拝にて奉仕
 - ・9-3 月 日本聖公会神学院にて「キリスト教史入門 2」担当
 - ・番町教会牧師としての執務執行
 - ・日本聖書神学校評議員としての執務執行